



三事研広報

NO. 4 H28. 1. 21 発行

三重県公立小中学校事務研究会

発行者 釜須 雅子

編集責任者 高階 圭子

めっきり冷え込む日が続いております。皆様もお風邪など召されないよう、お気をつけください。

さて今回は、少し遅くなりましたが、10月15日に開催いたしました第52回三重県公立小中学校事務研究大会の報告をいたします。

第52回 三重県公立小中学校事務研究大会

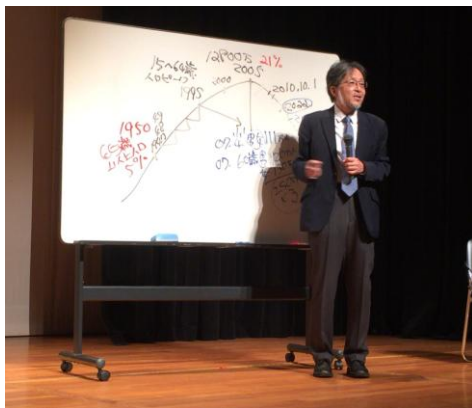
10月15日(木)、さわやかな秋晴れのもと、三重県総合文化センターにおいて、「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」をテーマに、第52回三重県公立小中学校事務研究大会が行われました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



挨拶する釜須会長

講演

- 演題 「コミュニティスクールと学校事務職員
～地域と子どもを育む仕組みのために～」
- 講師 四日市大学副学長・総合政策学教授 岩崎 恭典さん



人口の推移(減少)や高齢者数、世帯数等の変化のデータをもとに、地域コミュニティの意義や必要性を大変熱く語っていただきました。コミュニティスクールに対して、新しい視点で考えることができ、自分たち事務職員として、何ができるのか、また地域との関わり方等を考える良い機会になったと思います。

質疑応答も大変盛り上がりました。ありがとうございました。

<参加者の声>

自校も統合し、地域との連携もとても重要になっているので、大変興味のある内容で良かった。

「地域とつなぐ」「少子化」「高齢化」「三重県子ども条例」等キーワードがたくさんありました。

人口推移から国策、また私たち学校事務職員も頭を切り替えて今後を考えることの必要性が、より身近に感じられた。

コミュニティスクールの具体的な取り組み例などを、研修講座でお話していただきたい。

支部発表

- 研究テーマ 「学校における危機管理と事務職員パートⅡ
～いつか来るその日のために～」
- 担当支部 熊野支部

平成23年9月に甚大な水害を受けた熊野支部。実際に体験した災害を通して、防災・減災に備えた施設の改善、備品や消耗品の要望、予算確保など、危機管理にかかる事務職員の職務についての研究発表がありました。

実体験にもとづいた貴重な発表は、大変説得力があり、いつか起こりうる防災に対する心構えを持つことが出来たと思います。事前に知識を得ておくことが大切であり、準備を十分に整えておく必要があることを痛感しました。



<参加者の声>

災害後の実際に対応された事務処理等、本当に大変な様子が伝わりました。

災害時において、初動や記録が大切ということが良く分かりました。

原稿もあったかと思いますが、提案者ご自身の言葉で話されたのが良かったと思いました。

熊野支部の方への災害への取り組みを無駄にしないように活かしていきたいと思います。

支部紹介～松阪～

松阪支部は、松阪市48校(53名)、大台町6校(6名)、多気町7校(7名)、明和町7校(9名)の、1市3町で構成されています。

地域としては、山あり海ありの広い支部です。お子様連れなら松阪の子どもの城・中部台公園、自然派のあなたには大台町・大杉谷の雄大な自然、グルメを楽しむなら一度は行っておきたい多気町の「まごの店」、歴史好きのあなたには明和町の斎宮歴史博物館など…他にも見どころ満載の松阪支部に、是非遊びにいらしてください！



広報担当の高階です。高齢化がすすむ私の職場。すんなり言葉が出てきませんが、「あれ・これ・それ」でほとんどの会話も成立します(笑)

「先生、そろそろアレやで、アレして欲しいんやけど～」「ああアレなあ！今ちょっとアレやもんで、後でアレしてもええ??」「ええよ～。そしたら後でアレお願いね～！」

こうなるためには日頃からの「つながり」が大切です(^o^)/

